

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう100

カラスアゲハ

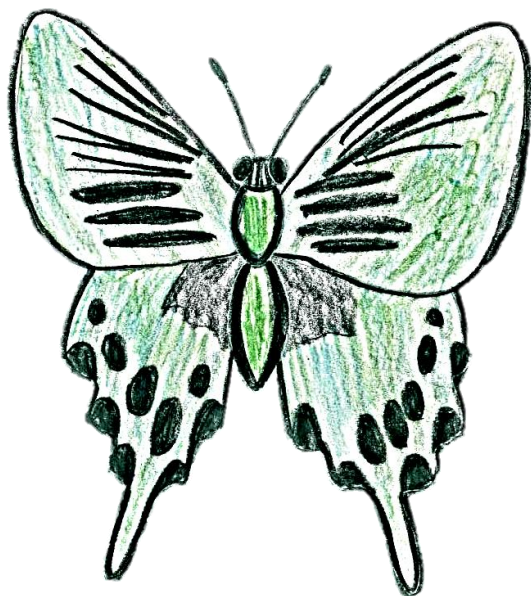
分類 チョウ目 アゲハチョウ科

すんでいる環境

- ・平地から山地の林。花や水辺に集まります。

小鳥の森でよく見られる場所

- ・ネイチャーセンター付近
- ・トンボ池
- ・シジュウカラの小径



わたなべ かずき さん（小学4年生）がかいてくれました

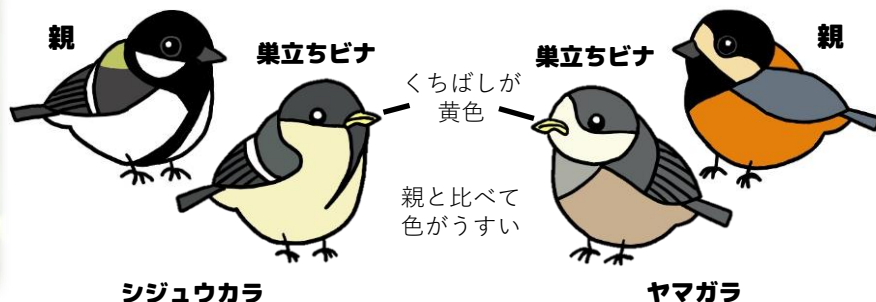
5月

いきもの森予報

巣立ちビナ

5月になると、森の中にある巣箱で育ったシジュウカラやヤマガラの子鳥の巣立ち（巣立ちビナ）に出会うことがあります。地面にいたところを見かけると、ケガをしているのかな？迷子かな？と思うかもしれませんが、そうではありません。巣立ったばかりのヒナはまだ上手に飛ぶことができないのです。ヒナは巣から飛び立った後に、飛び方・エサの取り方・仲間とのコミュニケーション・外敵（がいてき）からの身の守り方など、生きていくために必要なことを学びながら成長していきます。これは人から鳥に教えることができません。

きびしい自然を生き抜いてきた親鳥にしかできないことです。そのようなヒナを見かけたら、そっとしておいてください。きっと、親鳥が近くにいるはずですよ。

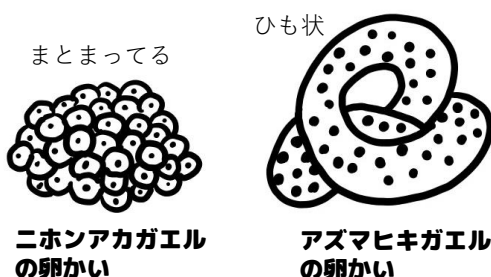


冬眠から覚めたカエルたち

小鳥の森にはニホンアカガエル、アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンアマガエルなどのカエルがすんでいます。

ニホンアカガエルは3月上旬ごろになると田んぼに卵を産み始めますが、今年は4月上旬にも新しく産んだ卵がありました。また、池では**アズマヒキガエル**の卵も。これら2種の卵は小鳥の森ではよく見られますが、卵（らん）かい（卵のかたまり）の形で見分けられます。イラストに示したようにニホンアカガエルはまとまった卵かい、アズマヒキガエルはひも状の卵かいです。

また、「コロロ、コロロ・・・」と**シュレーゲルアオガエル**の鳴き声が水辺からよく聞こえました。草や土の中にかくれているので、なかなか姿を見ることはできませんが、鳴き声でその存在を気づかせてくれました。



スタッフだより

キビタキが来る場所は？

5月はキビタキが「子育て」をするために東南アジアから飛来してきます。子育てに好む場所は山や森などで、「巣」をつくる場所と巣の周辺にヒナに与える「エサ」が十分にあるかが重要になります。オスは巣をつくる良い場所を見つけると、子育ての時期にだけ鳴く「さえずり」という鳴き声をだします。メスへのアピールやなわばりをアピールするためです。

巣はキツツキの古巣や木が折れたすきまなどを利用し、巣の中には落ち葉をしきつめます。ヒナに与えるエサは主にイモムシです。

今月は樹木の葉が開ききる前なので、枝先にとまるキビタキを見つけやすい時期です。

（レンジャー ほそい としひろ）



お知らせ

臨時休館のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、2020年4月19日（日）～5月6日（水）までの期間、臨時休館といたします。

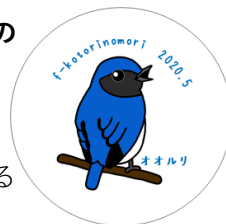
※状況に応じて期間を延長する場合があります。

森のたからもの探し

小鳥の森では毎月「森のたからもの探し」を行っています。お題のものの写真をとってきてくれた方に**オリジナル缶バッジ**をプレゼントします。

お題と缶バッジのデザインは毎月変わります。

5月のお題は「**黄色かピンクの花**」、缶バッジは「**オオルリ**」、期間は5月8日（金）～5月31日（日）です。※期間は変更となる場合があります。



* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2020年5月号№411／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま